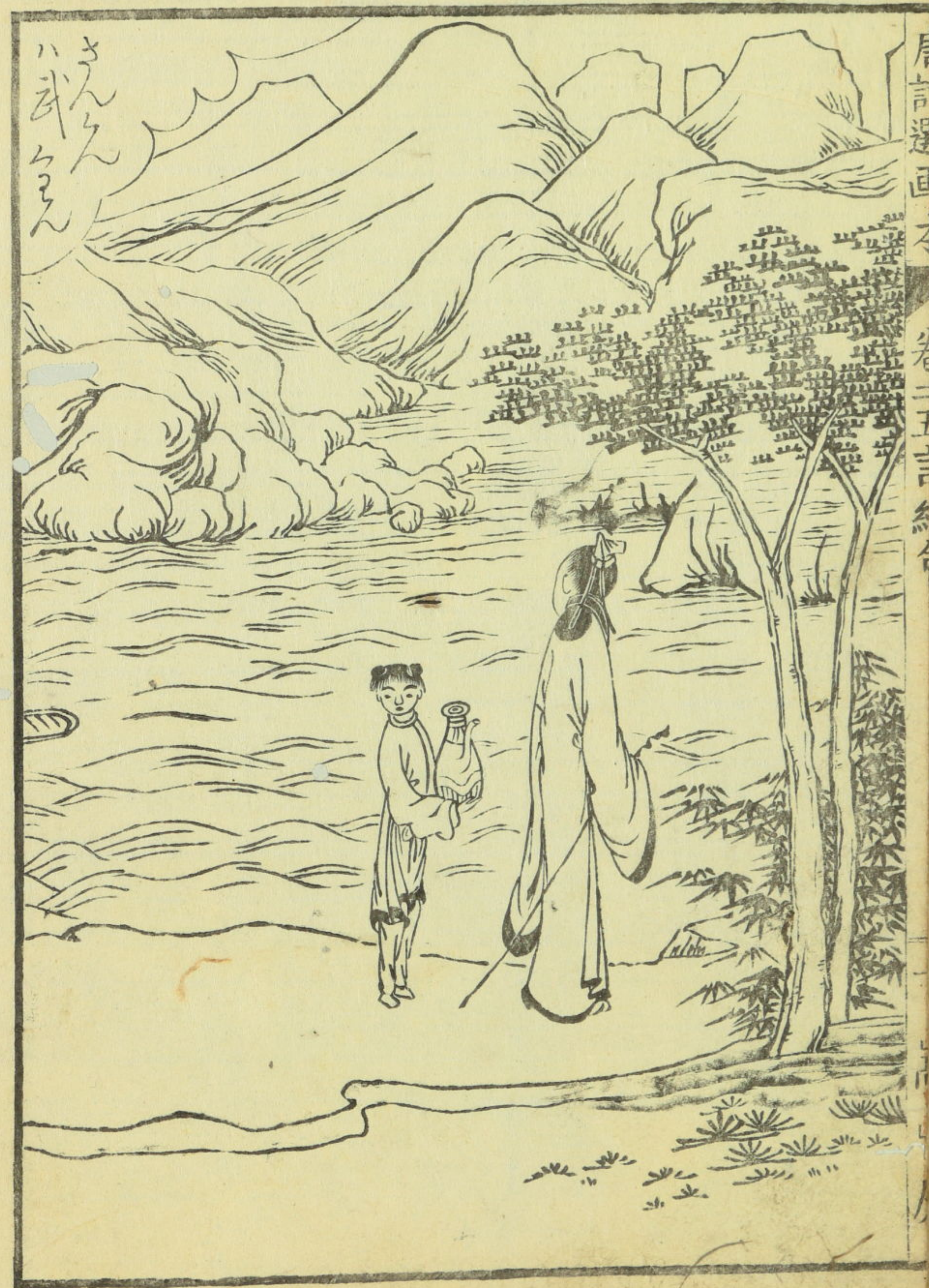


潮水還歸海流人
 却到吳相逢問愁
 苦淡盡日南珠

見京北葦矢
 軍量移東陽

ていすいこうつてうみやきーアーアんりつてとよいころ
 あいあめでちりくどそつちんふんつくまつちんののりぬ

海山房



さんん
ハ武々ん



なりアヤ
いやくの
なるも
ろくハな
き人の
潮あ
ハハ
カ
いぬ
とな
の
北
ハ
い
や
れ
る
つ
み
の
や
を
な
ん
の
ま
ん



ありあけのおとろし
 りゆるよりのかえ
 すてふかんつんげ
 ひあのふとまた
 ちれはちのこえ
 きつてころも
 一あつたのこ
 のまつりつる
 くらひあつた
 んたよこ
 このなり
 そるは
 けんの
 すい
 めさ
 るや
 たち
 うし
 えや
 く
 さい
 あり



ちよき
 とあ
 の
 い
 て

生
 心
 祝
 子
 息
 向
 玉
 階

蕭寺木

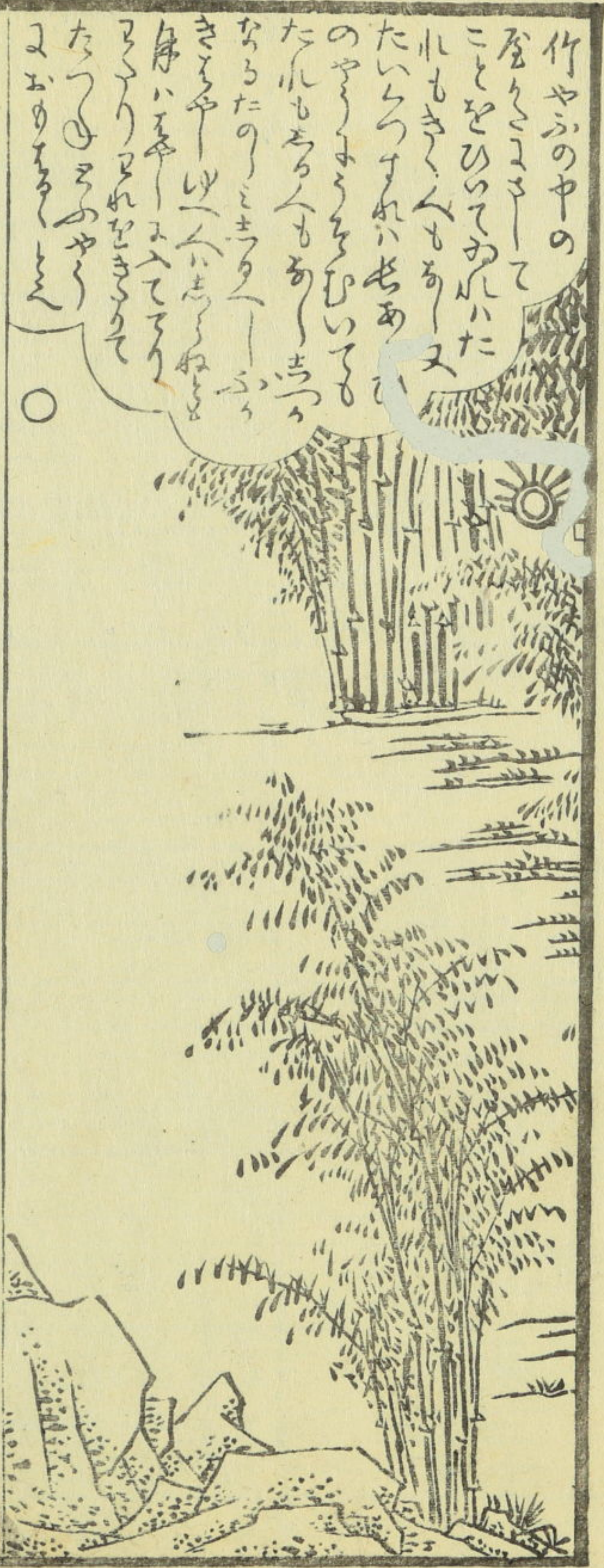
くさんひしやみきくせんこのひきこ
をきくせんけいせんせんみいつてま
せいふいのうをくせん

空山不見人 但聞人語响
返景入深林 照青苔

麻生おまの初あー
すゝやうなふくきこせん
せいのまき推くたやま
二十けいのひくつこ
せんこところくた
山たかりまて人もは
くくんのあきこ
るくせんせん
あひむきこ入り
たやーの中あこ
よさーニみ下の



てげの
をてん
まげり
まやゆ
くせい
ていあ
ぬの井の
ふん
つり



竹裡鼓

そとやうくんのしらたんきんしうち
やうしやうしんしんひんあし
わいりつきうてあいてしん

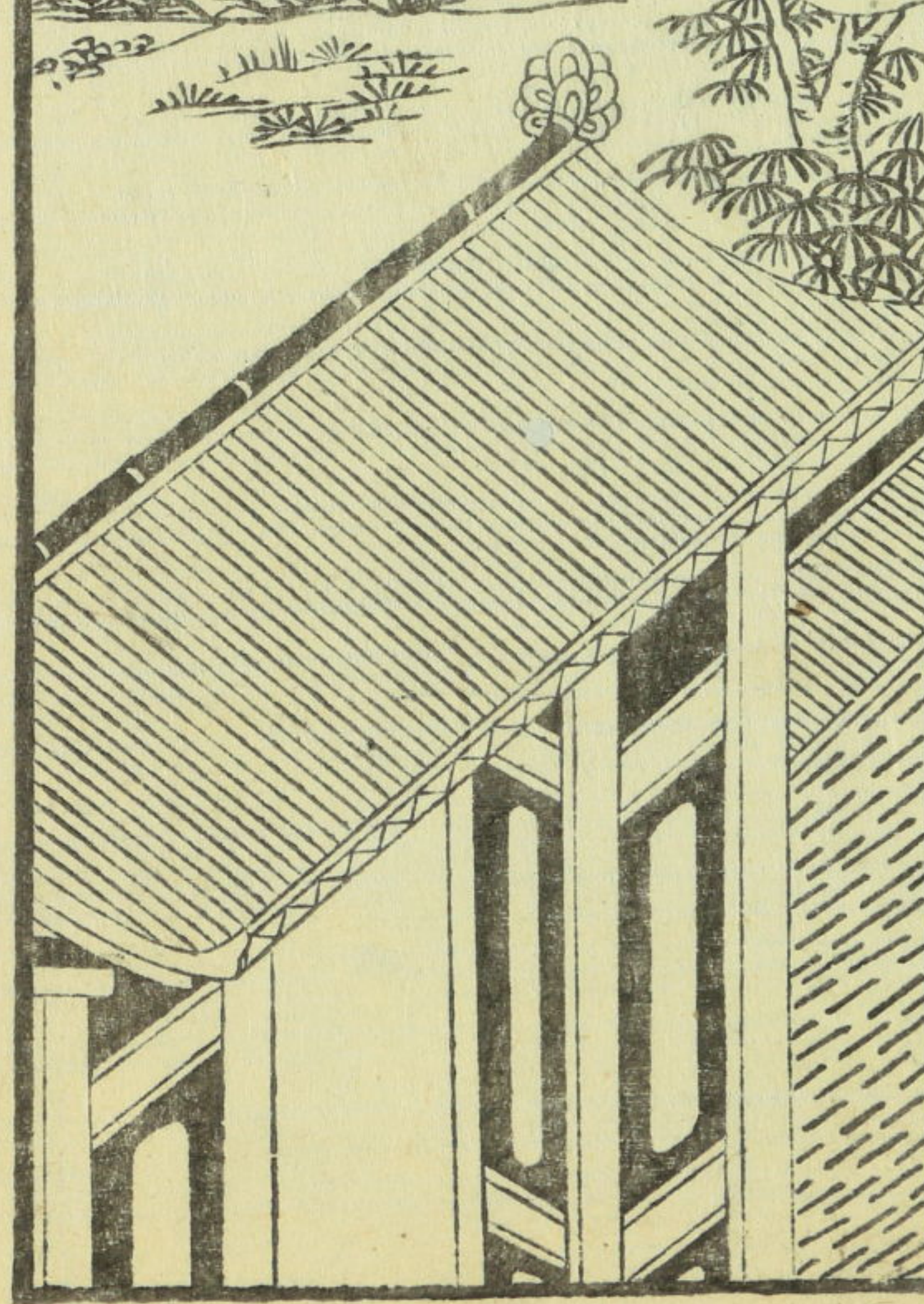
獨坐幽篁裏
彈琴復長嘯
涼林人不知
明月來相照

長信草

崔國輔

長信宮中艸年々愁處生時侵珠
履跡不使玉階行

唐詩のがふきく多んてうあんきくハ
長信のこゝをさるふ之時よんきく
ふさふさみきりそをこおけりあそ
あいおとろへてみゆきもななくめされ
もせすけりきままれこいれり
るふなりふさハ人のす
なうさあへたるこのゆ
さのささるゆりよ
もあまけりてあつた
もあつたぬやあ
てあつたのささる
ぬやあまけりき
もあつたささる
くあつたささる





少年きやうねんり

さんこのむちをいきやくしてまゝをわらわつてゆく
すまゝにまゝをわらわつてゆく

遺却珊瑚鞭 白馬驕不行 章臺折
楊柳春日路 傷情

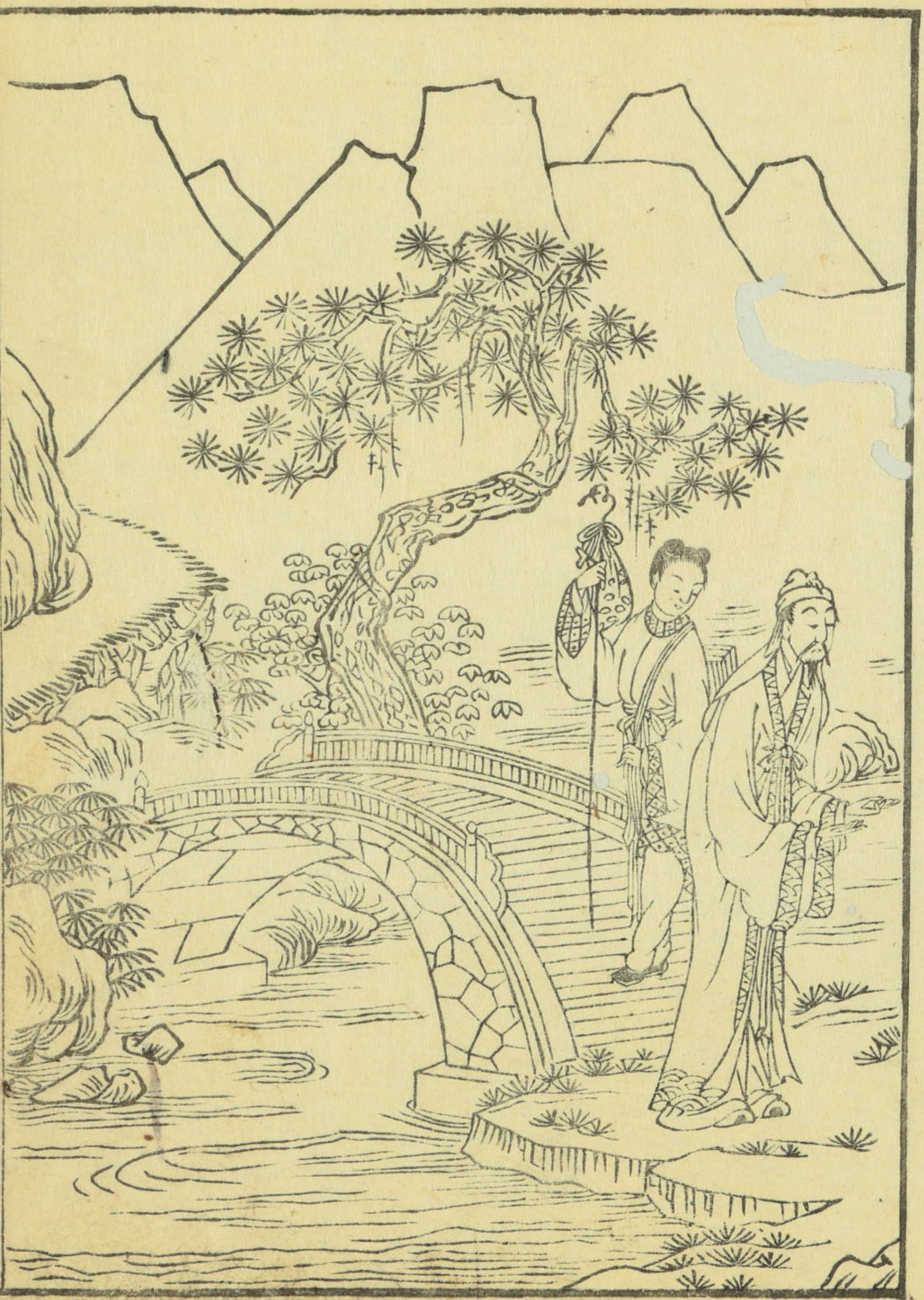
たしなむるこのむちをいきやくしてまゝをわらわつてゆく
ひまむちあててむちをわらわつてゆく
やてりわらわつてゆく

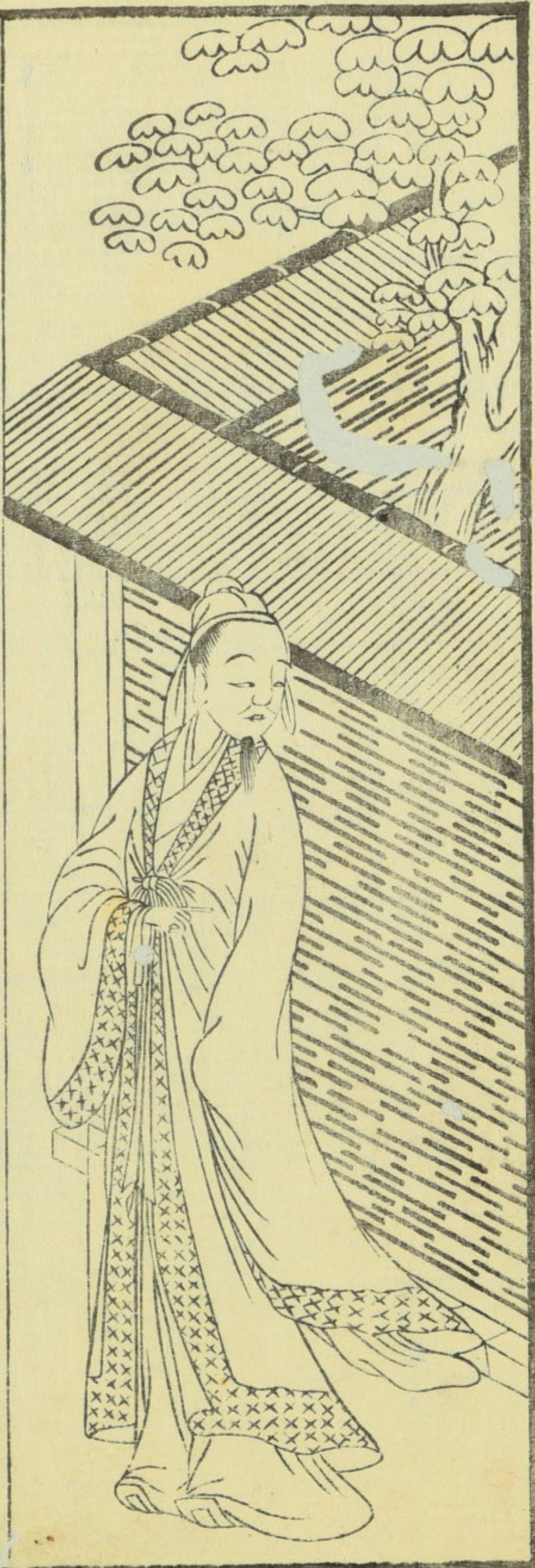
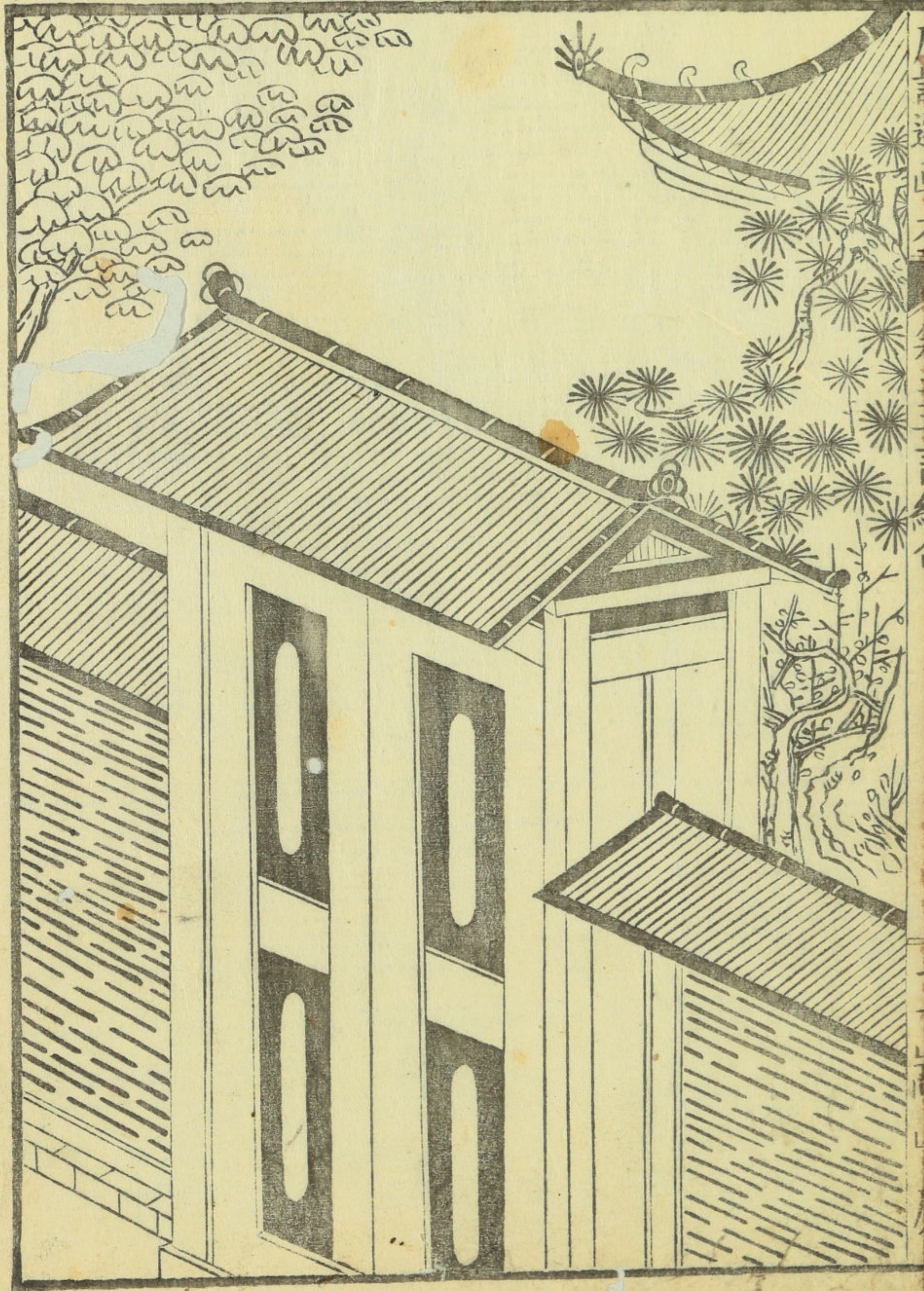
送朱大入秦

王維

送人五陵去
空為直子
空分手
况如贈平生
心

送朱大入秦 王維 送人五陵去空為直子空分手况如贈平生心





洛陽訪才子江嶺作流人聞說梅
花早何如此地春

洛陽訪才子江嶺作流人聞說梅
花早何如此地春

うぐわしのまへ...
うぐわしのまへ...
うぐわしのまへ...

唐詩選 卷之五 洛陽才子江嶺作流人聞說梅花早何如此地春

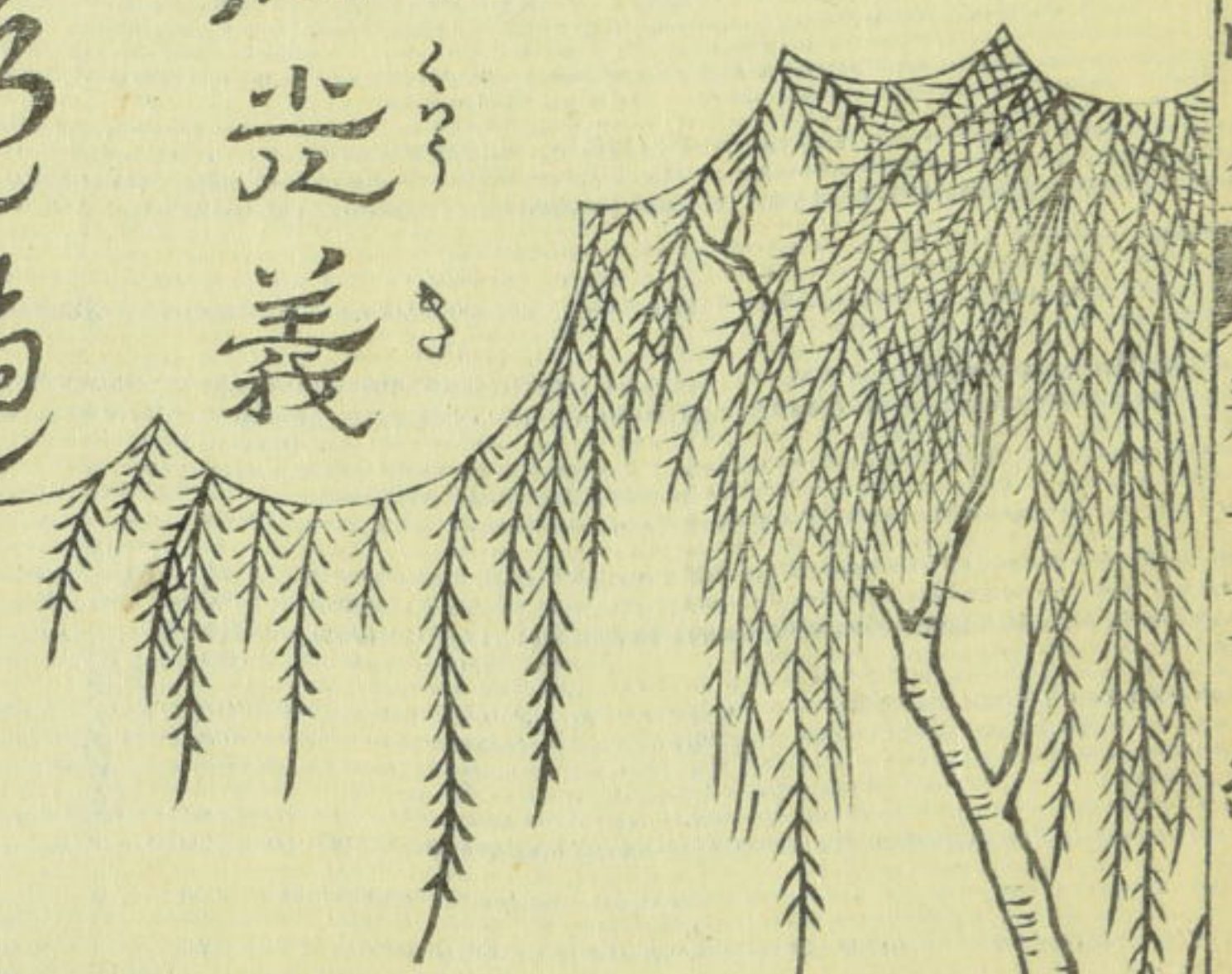
洛陽

儲光義

大乃有

如發

去の速



棠尚

五陵客

公子

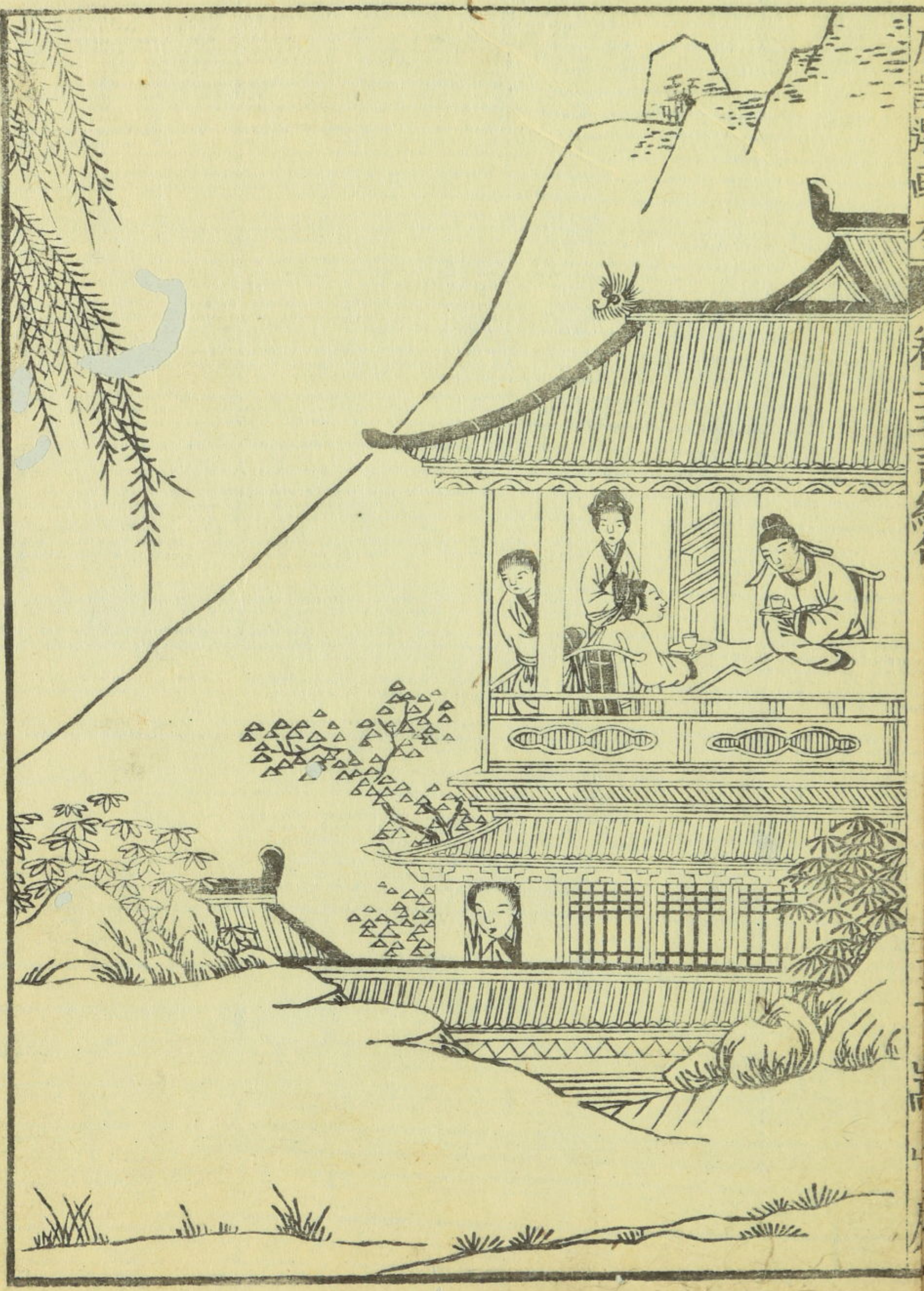
駿馬

如河



たのそくをたのそくとしてかみのほしをたのそくのまじりてきつかにあはれす

かまむのたのそくのすくちのらふとわみすのこゝろにまじりてあはれむ人のあはれむのそ
れきくのむすろふたのそくのまじりてあはれむ人のあはれむのそ
らしてあはれむ人のあはれむのそ



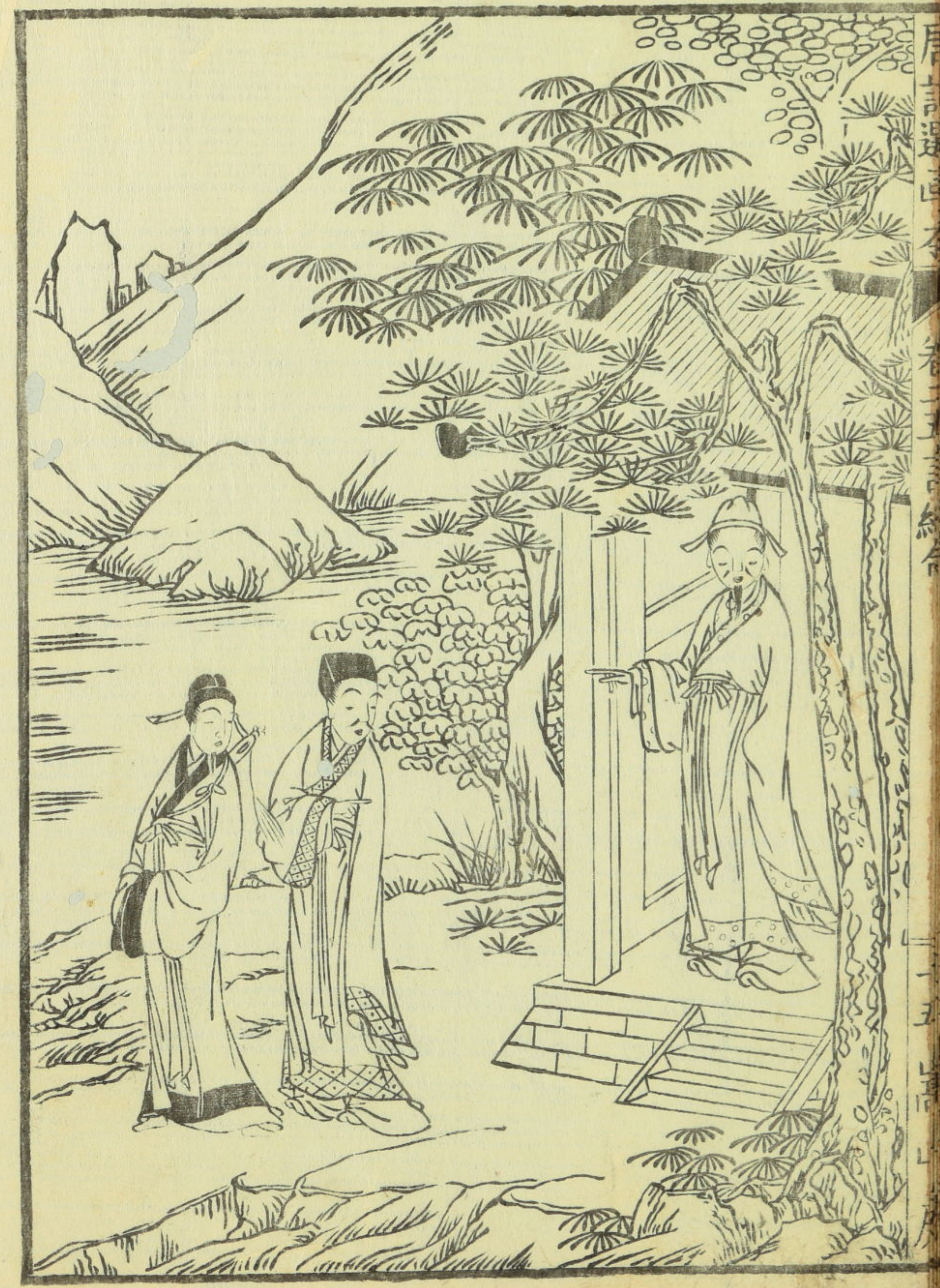
長安道

めいんまあ... ぶひくまのち... ぶひくまのち... ぶひくまのち...

馬鞭を酒肆... 馬鞭を酒肆... 馬鞭を酒肆... 馬鞭を酒肆...

送郭司倉

王昌齡
おのころけい



周詩選圖本
卷二十一
送郭司倉

もんよあいにてまいすいみとりたありきをそとむまゆーんのこう
ろめいりつアヤウもんよあいにてまいすいみとりたありきをそとむまゆーんのこう

くはしそりうたひしちをまよとて川のをとり人の心まかしてをくらを
して他はりは川ありもんよあいにてまいすいみとりたありきをそとむまゆーんのこう
あていあやうそこもとをまめていま一まんらみまいとをとりをとおしむの
てらうててさるそこもとをまめていま一まんらみまいとをとりをとおしむの
こころおいまらうまらうすけののこころまの川のあまかりちのあまら
まゆふくふくくしてまらまられのこころまの川のあまかりちのあまら

映門淮水綠留田騎
主人心明月随良
椽替潮夜々深

卷之三終



